

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 千葉県柏市柏4-5-10 サンブラザビル6F
名称 協和精工株式会社
代表者 鈴木 豪

協和精工株式会社

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

精密刃工具及び腕時計の製造販売の一環生産をしている事業を踏まえて、環境に配慮した、省エネルギー工法用の切削工具と、分解可能な機械式腕時計の開発と普及に努めるとともに、作りすぎ、買いすぎの「ムダ」を減らす生産管理の強化を図る事で、自社のみならず取引先、サプライチェーンと共に持続可能な商品の開発と地域経済の実現を目指します。

3側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>(※初回記入不要。1年ごとに要報告) 初回登録年月日：R4年 1月17日</small>	関連する主な SDGsゴール (最大3つ)
<input type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境	・リサイクル(再生)が、可能な商品開発の継続、販売強化	・再生可能な自社ブランド商品(腕時計)の売上比率向上 (2022年度：34%→2030年度：50.0%) ・環境調和型で省エネ工法用の切削工具の売上比率向上 (2022年度23%→2030年度：50.0%)	・自社ブランド時計製品売上比率目標 (2024年度：40.8%) ・cBN工具、PCD工具売上比率目標 (2024年度：27.6%)	9・12・15
<input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境	・生産管理の強化	・Fコスト率と余剰在庫・材料費の削減により 年間粗利額2021年度対比150%を目指す。	・業務効率化のために多能工化を推進。習得デー(週1日、技術作業者のレベルアップの取り組み実施)を設け現場の作業対応力の強化と対応人員の強化(時計事業) ・新規設備機械のポテンシャルをより引き上げるために機械メーカーから定期的な勉強会を実施、効率化と対応力強化を推進(工具事業)	7・12・17
<input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 環境	・社会貢献活動の積極的参加	・社会の課題を解決するため、自社の技術と製品を通して社会貢献する。	・2023年度：環境調和型の生産に使用されるcBN工具やPCD工具の生産供給を継続して取り組み。 ・持続的にメンテナンス対応可能なMINASEブランドの時計の拡販	3・8・11

【記載留意点】

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	